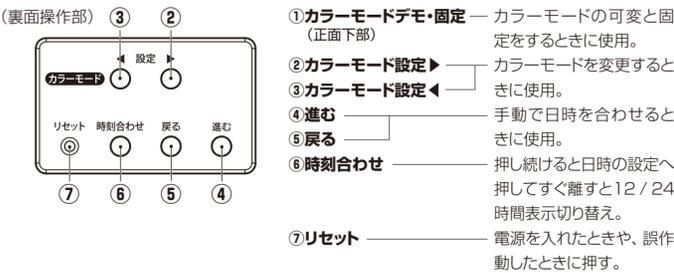
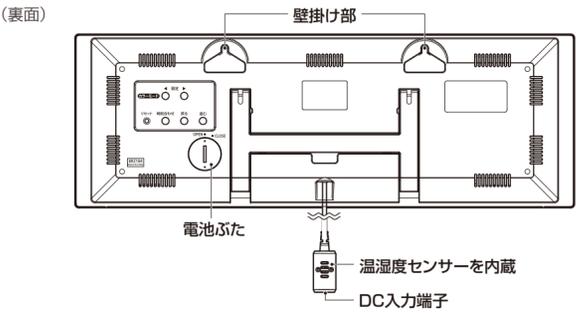


各部の名称と役割

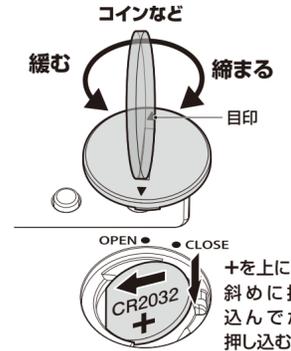
◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



1. 電源のセッ

(1) 停電補償電池をセットする

停電などでAC電源アダプターから電力が得られないときに、日時を保持するための停電補償電池をセットしてお使いください。



必ずAC電源アダプターを本体から取り外して作業をしてください。

- 電池ふたの▲印をCLOSEからOPEN位置に回して、電池ふたを取り外す。
- 電池の+表示を上に入れて入れる。
- 電池ふたの▲印をOPENからCLOSE位置に回して、電池ふたを取り付ける。

※電池が取り出しにくいときは、すまじ(ようじ)などを挿し込んで電池を持ち上げてください。

※金属製のピンセットを使用しないでください。電池がショートすることがあります。

※交換用の電池は、家電量販店やコンビニなどでお買い求めください。

停電補償電池の役割 ※手動での日時の設定を行うことはできません。

- 日時、温湿度の表示はしますが、照明はされません。
- 定期的に受信を行います。

危険 死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容

! 小さなお子様の手の届く所に置かない

ボタン電池やコイン電池を飲み込むと短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。

ボタン電池やコイン電池は絶対に乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一、飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。

■電池の寿命について

●付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

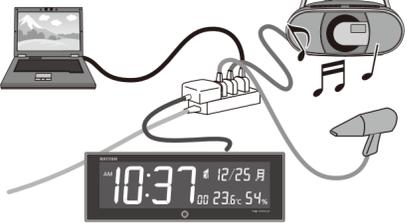
電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はゼロハンテープなどで絶縁してください。

(2) ACアダプターを接続する

AC電源アダプターをAC100Vのコンセントにしっかり差し込み、時計のDC入力端子にプラグを根元まで差し込んで接続します。

悪い接続例



家電製品やパソコンなどが接続されたテーブルタップにAC電源アダプターを接続すると、ノイズの影響により、受信に失敗することがあります。

接続するときのポイント

- 単独のコンセントに接続する。
- AC電源アダプター本体と時計を30cm以上離す。

警告 必ず付属のAC電源アダプターを使用する。他のものを使用すると、故障や火災の原因になることがあります。

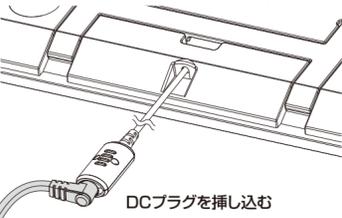
警告 使用中のAC電源アダプターは熱を持ちます。触れられないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止してください。

AC電源アダプターを接続してお使いください。

置いて使うとき: 本体に直接AC電源アダプターを接続する。
掛けて使うとき: 付属の延長ケーブルを介して、AC電源アダプターを接続する。

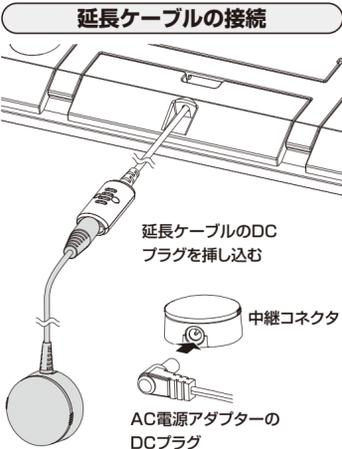
■直接接続

AC電源アダプターのDCプラグを本機のDC入力端子にしっかり挿し込み、AC電源アダプターのACプラグをしっかりとコンセントに挿し込んでください。



■延長ケーブルの接続

延長ケーブルのDCプラグをDC入力端子に奥までしっかり挿し込みます。中継コネクタにAC電源アダプターのDCプラグを差し込みます。



延長ケーブルを壁面に固定する

延長ケーブルの中継コネクタは、木ねじまたはクギで壁面に固定することができます。中継コネクタのキャップは左に回して引っ張ると取り外せます。取り付けるときはキャップを右に回転して固定してください。

木質の厚い壁面の場合

プラスドライバーをご用意ください。木ねじ2本で固定してください。

石こうボードの場合

4つのクギを図のように斜めに押し込んで固定してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

2. 標準電波を受信させて日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**(手動での時刻合わせ)**をお読みください。

◎電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

① 楊枝などでリセットを押す

※リセットを押すと、受信を開始します。
※リセットを押すと、2015年1月1日、AM12:00に初期化されます。

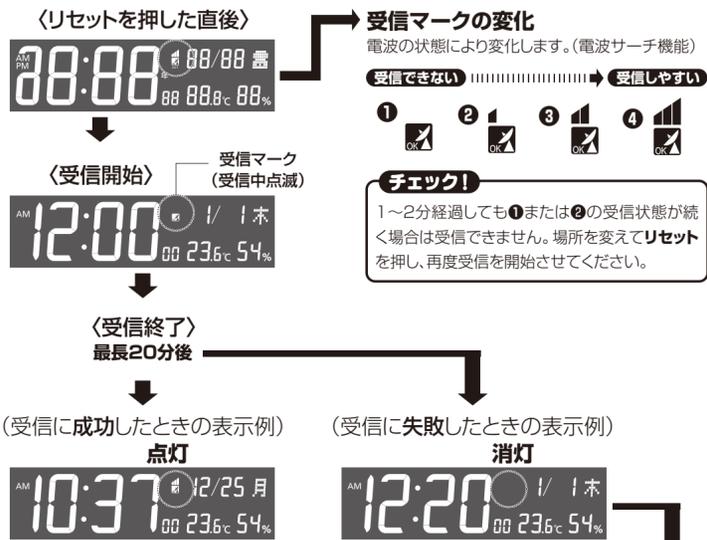
◎受信中はボタンに触れないでください。

② 20分待って受信結果を確認する

受信は、最長で約20分を行います。受信マークで受信結果を確認してください。

☞【受信の流れと表示】参照

【受信の流れと表示】



○受信マークは受信成功後、24~25時間点灯。

○受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

このようなときは、場所を変えてから**リセット**を押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、**リセット**を押して結果を確認します。

強制受信とリセット操作について

強制受信 (受信機能がONのとき)

場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。

操作「進む」と「戻る」の2つのボタンを同時に約2秒間押し続けるとが点滅して受信を開始します。日時の設定状態のときは強制受信を行いません。

リセット

電源を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2015年1月1日AM12:00に設定されます。また、電波受信機能がONになり、受信を開始します。

電波受信機能のON/OFFを切り替える

ON: 定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。

OFF: 電波を受信しません。遅れ進みが発生したときは、手動で日時を修正してください。

「進む」と「戻る」ボタンを同時に8秒間押し続けると、ONとOFFが切り替わります。

ONに設定



OFFに設定



○ON/OFFが切り替わるときに、日付表示部にON/OFFが約2秒間点滅します。

○ONにしたときは、電波の受信を開始します。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

※AC電源アダプターを取り外しても、停電補償用電池により設定は保持されます。

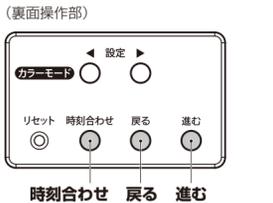
手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分、秒)の順に設定してください。

年月日、時刻(時、分、秒)でのボタン操作

点滅している数値を**進む**または**戻る**で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます。

ボタン操作	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1つ進む	早送り
戻る	1つ戻る	早戻し



操作例: 2017年12月25日 AM10:37に合わせる



- ①西暦年が点滅するまで**時刻合わせ**を約2秒間押し続ける
- ②年を合わせる
- ③月を合わせる
- ④日を合わせる
- ⑤時を合わせる
- ⑥分を合わせる
- ⑦秒を合わせる

以上で設定が終わりました。

- 表示の設定が12時間表示か24時間表示かをご確認のうえ、時刻合わせをしてください。
- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

明暗センサーによる明るさの切り替え

明暗センサーが暗いと判別した場合は、表示の明るさが明から暗、明るいと判断した場合は、暗から明に切り替わります。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。

時刻表示の切り替え

時刻合わせを押してすぐに離すと12時間表示と24時間表示を切り替えることができます。

AM/PM付12時間表示



24時間表示



次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。

- 電波の受信中
- 日時の設定中。

表示色について

表示色には、固定モードと可変モードがあります。 デモ・固定ボタンを押すたびに固定と可変が切り替わります。

①**固定モード:** 色の変化はなくなり、表示色が単一になります。デモ・固定ボタンを押したときの表示色になります。グラデーションタイプのときに固定モードにすると、「分」の表示色が全体の表示色になります。

固定モードのときに◀または▶を押すと、表示色が段階的に他の色に切り替わります。

②**可変モード:** 色が変化します。可変モードのときに◀または▶を押すと、7種類(CL1~7)の色の変化を選ぶことができます。

※◀または▶を押すと、表示が一度消えてから切り替わります。

※固定モードから可変モードに切り替えると、CL1に設定されます。

CL1: 赤、緑、青、フルーツカラー、パステルカラーの5種類を

組み合わせたグラデーション

CL2: 赤のグラデーション

CL3: 緑のグラデーション

CL4: 青のグラデーション

CL5: フルーツカラーのグラデーション

CL6: パステルカラーのグラデーション

CL7: 単一変化

※グラデーション: 表示色が左から右、または右から左に連続的に変化します。

※単一変化: 表示色全体が他の色に変化します。

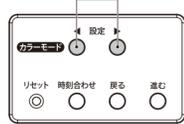
電波の受信を行なっているときは緑の単一色になり、色の設定はできません。受信が終わると受信開始前の表示色になります。

カラーモードデモ・固定ボタン



正面下部

カラーモード設定 ◀▶



可変モードのときに◀または▶を押すと、日付の下に約3秒間、色の種類が表示されます。(上図はCL7)